

## MT 工法における節杭の有効性の検討

**目的** 杭の埋め込み工法の1つであるMT 工法(ミルクトップ工法)において、節杭が丸杭に対して有効性があるかを検討する。

**方法** 有限要素法による軸対称弾性解析プログラムを用いて、丸杭及び節杭について杭周辺部の応力及び変位の挙動を比較する。

**特徴** モルタルを杭周辺部に注入する場合としない場合、また、地盤とモルタルのヤング率をいろいろ変えて、種々のケースについて節杭と丸杭の違いを解析している。

**結論** 今回の解析では、MT 工法における節杭と丸杭について顕著な差異は見られず、節杭の有効性は確認できなかった。これは杭周辺に注入されたモルタルが杭と一体化した形となったためと考えられる。